

ぷちインフォ < 気管支喘息 > 2008・7

気管支喘息とは？

いつも気道に炎症が起きている状態をいいます。

炎症が起きている状態では気道が過敏になっているため、アレルゲン（埃、動物の毛、ダニの死骸など）風邪のウイルス、ストレスなどにより、気道が過敏に収縮します。

そのため、咳、痰、呼吸音（ヒューヒュー、ゼーゼー）などの症状がでます。

生活習慣での注意

ダニを回避する・・・まめに掃除をして埃をためない、室内でペットを飼わない、まめに換気をする。

風邪をひかないように注意する・・・生活のリズムを崩さない、うがい、手洗いをする。空気が乾燥している時にはマスクを着用する。

ストレスをためない・・・軽い運動、趣味などでストレス発散。

タバコを吸わない・・・自分で吸わない、受動喫煙でも過敏性が高まるので注意。

気管支喘息の治療薬

現在は基本として気道の炎症を抑える薬剤が第一選択となっています。吸入のステロイド剤や抗ロイコトリエン薬は副作用も少ないので、長期服用される患者様も安心して服用することが出来ます。発作時などに使用する気管支拡張剤は効果の高い薬剤ですが、動悸や手の震えなどの副作用が出やすいので、使い過ぎに注意が必要となっております。

吸入ステロイド薬・・・気道の炎症を抑えるお薬です。主に予防目的のお薬です。

抗ロイコトリエン薬・・・ロイコトリエンという喘息の原因物質の作用を抑えるお薬です。

テオフィリン製剤・・・気道を拡げるお薬です。気道の炎症を抑える作用もあります。

長時間作用性気管支拡張薬・・・ゆっくり長く気管支を拡げるお薬です。

短時間作用性気管支拡張薬・・・吸入後すぐに気管支を拡げるお薬です。